



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.44

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2009.冬・春

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



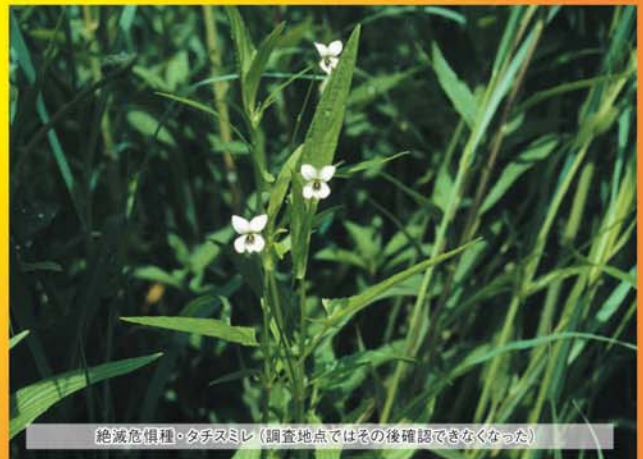
自然史博物館の館林地域湖沼調査(城沼)・プランクトンを採集しているところ



特定外来種・カミツキガメ(北米原産:群馬県でも繁殖が確認された)



ヌカバノリンクス属(サメ類:中生代白亜紀山中層群, 多野郡産)



絶滅危惧種・タチヌミレ(調査地点ではその後確認できなくなった)

第32回企画展 わかった!かわった?群馬の自然

開催 平成21年
期間 3月14日(土)~5月6日(水)

群馬県立自然史博物館には県内の自然を調査し、資料を集め研究するという大きな役割があります。この企画展では博物館の職員やその協力者の皆様が行ってきた調査・研究の成果を発表します。これまでに、新種の古生物の化石の発表や、県内初記録の生物の発見などの成果もありました。また、調査を通して自然の変化を客観的に記録することも大切なことです。近年問題になることが多い里山環境の変化や、外来生物の進出も博物館の職員がかかわってきた調査の中からしだいに明らかになったものがあります。普段目にする機会が少ない研究機関としての博物館の顔を知っていただければ幸いです。

(学芸係 大森 威宏)

お知らせ

企画展会期中の土曜日、博物館の学芸職員が、最新の研究成果や研究の裏話を10分程度で語る「リレートーク」を行います。11:00から2人の職員がそれぞれの担当分野について話します。場所は企画展示室内のスクリーン前です。ぜひご参加ください。このほか、今回の企画展開催期間中はイベントが盛りだくさんです。詳しくはイベントカレンダーをご覧ください。

— 侵入する生物たち —

自然史博物館では、群馬の自然のこともっと多くの方に知っていただきたいと考えています。そこで『ぐんまの自然ハンドブック』を刊行することになりました。B6版のミニサイズで簡単に持ち歩けます。

ハンドブック・シリーズ第1弾では、現在群馬県内に急速に広がりつつある「外来生物」を取り上げます。「外来生物」とは、もともとはその地域になかった生き物ですが、ペット、観賞用、食用、研究用などの目的で持ち込まれたり、荷物と一緒に運ばれたりするなど、人間の活動によって海外などから入ってきて日本各地で定着しつつある生物のことです。今回は、哺乳類や魚類、爬虫類など動物を対象としました。このハンドブックは、県自然環境課、県自然環境調査研究会と協力して作成するものです。

外来生物の中でも、生態系や人に危害を与えるもの、農林水産業へ被害を及ぼす恐れがあるものは特に「特定外来生物*」に指定され、その生物が広まらないよう、「育てたり」、「殖やしたり」、「運んだり」することが禁止されています。

こうした特定外来生物の中には、ペットとして飼えなくなった生物を捨てたことがきっかけとなり、県内に広がったものが多数います。捨てられた生物は生き抜くために、安全ですみやすい場所を探し、その場所に棲息している生物を食べ、たくさんの子孫を残そうとします。

その結果、家屋に侵入して繁殖する、農作物に被害を及ぼすといった被害が出始めています。また、その地域にいた在来の生物の棲息場所を奪い取ったり、在来の生物を大量に捕食してその数を激減させたりするなど、在来の生物の棲息を脅かすことが懸



アライグマ

北米原産です。TVアニメで一躍有名になりました。その愛らしい仕草から、ペットとしてたくさん飼われるようになりました。しかし、成獣（繁殖期）になると凶暴になる傾向があることから、各地で遺棄、あるいは、逃亡したものが繁殖・定着し、現在ではほぼ全国でみられるようになりました。人獣共通感染症として狂犬病を蔓延させる可能性も問題となっています。

県内では、西毛地区を中心に棲息域を拡大しています。

念されています。

このハンドブックを通して、彼らの生態や群馬県内の現状を理解し、人の行動の結果、新たに生じることとなった生態系への脅威を読者の視点で考えていただきたいと考えています。

(学芸係 姉崎 智子)

※「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2005年6月施行)による



カミツキガメ

アメリカ大陸原産。「スナッピング・タートル」として、1960年代以降に大量に輸入され、1匹300円程度で販売されていました。小さいうちは手にのる程度の大きさですが、成長して大型化(成体で約40cm)することから飼いきれなくなり、遺棄された個体が各地で定着しています。動きは比較的俊敏で、顎の力が強いので、発見した時には、前方から近づかないこと、また、怖がらせないなど注意が必要です。

県内では、2001年以降、11例が報告されています。

尾瀬の展示—尾瀬学校の事前学習で活用していませんか？

県内の小中学校では、今年度より「尾瀬学校」が始まりました。常設展示室Bコーナー「群馬の自然と環境」に尾瀬についての展示コーナーがありますので、「尾瀬学校」の事前学習等で活用してはいかがでしょうか？以下に展示のポイントを紹介します。

〈尾瀬ヶ原や至仏山の植物をジオラマで紹介〉

7月下旬頃を再現した尾瀬ヶ原や至仏山の植物のジオラマがあります。湿原のイメージやいろいろな植物のイメージをとらえることができます。



〈地形やおいたちを立体模型で紹介〉

尾瀬の現在の地形や、尾瀬ヶ原と尾瀬沼ができるまでを再現した立体模型があります。地図では分かりにくい起伏を理解することができます。

〈泥炭層や拋水林をはぎとり標本で紹介〉

尾瀬ヶ原の湿原は、泥炭層できています。その泥炭層をはぎとった標本や拋水林の地下をはぎとった標本があります。泥炭層とは実際にどのように積もっているのか、拋水林の地面の下はどのようなになっているのかを確認することができます。

〈尾瀬の保護についてパネルで紹介〉

尾瀬は「自然保護活動発祥の地」と言われています。尾瀬の自然保護活動の歴史をパネルで紹介しています。

〈尾瀬の四季を『尾瀬シアター』で紹介〉

尾瀬の四季折々の美しい自然をミズバショウの精であるミズビーとニッコウキスゲの精であるニッキーが案内します。時間は13分間で一度に30人程度見られます。

なお、展示物を見ながら尾瀬について学習するためのワークシートを当館ホームページで紹介していますのでご活用ください。

(<http://www.gmnh.pref.gunma.jp/education/worksheet.html>)

(教育普及係 上原 久志)

平成21年度子どもミュージアムスクール生募集!

子どもミュージアムスクールに参加していませんか？

博物館学芸員と一緒に研究をしてみませんか？きっとすばらしい発見がありますよ！

対象：小学5年生～中学3年生

定員：18名（各コース6名、応募者多数の場合は抽選）

参加費：1,500円（保険料・教材費の一部負担）

活動期間：2009年5月下旬～2010年3月上旬（10日間程度）

申込：申込用紙を請求して申し込んでください。申込用紙の請求方法は以下の通りです。

- ①80円切手を貼った返信用封筒（返信先が書かれたもの）を同封し、博物館宛に申込用紙を請求する。（3/1以降）
 - ②当館ホームページから申込用紙（PDF形式）をダウンロードする。（4/8以降）
 - ③当館総合案内で請求する。（4/8以降）
- ※①の場合は、4月8日（水）に館より申込用紙を送付します。

申込締切：4月30日（木）（必着）

参加者決定日：5月8日（金）

平成21年度子どもミュージアムスクールの開設予定コース：

- ①植物標本とリストづくりコース
- ②天体観測入門コース
- ③化石入門コース

※コースは変更の可能性があります。申込用紙には、最終決定したコースを記載します。

(教育普及係 高橋 秀武)



平成20年度キノコ採集・培養コース

収蔵資料より 富岡市上黒岩産マダケ

標本の植物は群馬県でもっともありふれた竹であるマダケです。竹林の拡大は全国的な問題で、群馬県の里山も例外ではありません。栽培植物が野外に逃げ出し、自生すると「外来植物」として地域の植物リストに加わります。このような分布の変化を報告する場合、証拠となる標本が必要です。このような分布の変化を報告する場合、証拠となる標本が必要です。一方、減少が著しい生物の分布変化を検証するにも過去の標本が不可欠です。今回紹介したマダケのような普通種を採集し、収蔵することは、研究機関である博物館にとって重要なことです。ところが、群馬県立自然史博物館に収蔵・登録されたマダケの標本はわずか9点です。普通種ほど採集される機会が少ない現実があります。身近な雑草や雑木ほど意識的に採集する必要があるかもしれません。

(学芸係 大森 威宏)



マダケ BS-4983
(2001年4月12日 富岡市上黒岩産)

インフォメーション (2月~5月の予定)

第32回 企画展「わかった!かわった?群馬の自然」2009年3月14日(土)~5月6日(水)

- 2月**
- 1日(日) 自然史講座「ねずみ速報2008」
 - 15日(日) バックヤードツアー
 - 23日(月)~25日(水) 資料整理休館
 - 28日(土) 天体観望会「冬の星座」
 - 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「土の中の微生物を観察しよう」

- 3月**
- 14日(土)~5月6日(水) 第32回企画展「わかった!かわった?群馬の自然」
 - 15日(日) バックヤードツアー
 - 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「偏光板万華鏡をつくろう」

- 4月**
- 5日(日) 企画展自然教室「群馬県の化石」
 - 12日(日) バックヤードツアー
 - 26日(日) 企画展自然教室「どこまでわかった?群馬県の植物」
 - 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「イヌワシ型グライダーをつくろう」

- 5月**
- 10日(日) ファミリー自然観察会「吾妻峡の岩石と植物」
 - 31日(日) 自然史講座「尾瀬の自然と現状」
 - 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「火山灰から宝石を見つけよう」

■凡例

- ☎ 電話で申込み(1ヶ月前から先着順)
- 📄 八がキで申込み(2週間前までに先着順)
- 👤 当日会場で申込み(先着順)



休館日

○印の日は休館いたします。

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	・	・	・	・

4月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	・	・

5月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	・	・	・	・	・	・

利用案内

■開館時間 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:30まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

■観覧料

	一般	高校・大学生
常設展のみ開催	500円	300円
企画展開催時	600円	300円

※中学生以下、身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその介護者1名は無料
※有料者20名以上は団体料金で2割引となります

群馬県立自然史博物館だより Demeter No.44

編集・発行 群馬県立自然史博物館 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
Tel.0274-60-1200 Fax.0274-60-1250
ホームページ <http://www.gmnh.pref.gunma.jp/>